

## 授業の取り組み

福祉分野では、将来、介護士や看護師、医療関係の職種を希望する生徒たちが主に学んでいます。

2年生「こころとからだの理解」の授業では、こころのしくみや人の心理について、からだの構造や各臓器の役割など年間を通して学びます。医療系進学希望者が多いため、実際に医療系の職種に従事している看護師の先生や理学療法士・作業療法士の先生を数回呼びしての授業も行っています。働いている現場の声やその職種のやりがい大変だったことなどを教えて頂いています。

3年生の「生活支援技術」の授業では、座学に加え、実際に生徒が高齢者役と介助者役に分かれて様々な実習を行っています。車椅子の介助や食事介助、ベッドメイキングなどを行いました。最初は慣れない介助の実習でおそろおそろ介助していた生徒達も慣れてくると、声掛けをしながらテキパキと介助していました。受講する生徒の中には介護職員初任者研修の資格取得を目指す生徒もあり、真剣に授業に取り組んでいます。

【こころとからだの理解 授業風景】



【生活支援技術 授業風景】

